

2014 春 九州経済最前線

中小企業基盤整備機構九州本部の支援企業

中小企業基盤整備機構九州本部(福岡市博多区)は、さまざまな支援メニューや施設を用意して中小企業の発展や人材育成を支援している。企業の事業や規模に合わせて効果的な後押しができるのが特徴で、支援を受けた企業は各種制度を生かして確実にステップアップしている。

香蘭社のウェブサイト



フランス市場を調査するアーダン



れんげ・カンパニーの全粒大豆粉製品



宇佐パン粉の冷凍パン生産工程

有田焼老舗のサイト開設

香蘭社(佐賀県有田町・深川祐次社長、0955・43・2131)は、専門派遣制度を活用して、インターネットショップの設置やウェブサイトの再構築に取り組んでいる。有田焼の市場は消費者の百貨店離れなどがあり、老舗メーカーの同社にとっても避けがたい状況が背景にある。そのためブランドイメージを向上させるべく、インターネットショップの開設を計画している。また、有田焼の魅力を伝えるためのウェブサイトも作成している。有田焼の市場は消費者の百貨店離れなどがあり、老舗メーカーの同社にとっても避けがたい状況が背景にある。そのためブランドイメージを向上させるべく、インターネットショップの開設を計画している。また、有田焼の魅力を伝えるためのウェブサイトも作成している。

香蘭社

絹化粧品で仏進出を目指す

アーダン(鹿児島県奄美市西博多社長、0997・54・2378)は、絹を原料にした化粧品の開発に取り組んでいる。絹は化粧品や美容の研究が盛んで、世界的な化粧ブランドが多いが、アーダンの製品は絹の使用率の高さが特徴という。絹の用途研究では鹿児島大学と共同で、皮膚科分野に取り組む。2012年9月には海外展開を計画している。

アーダン

国内市場では通信販売などで事業を拡大する一方、フランスへの進出を目指している。同国は化粧品や美容の研究が盛んで、世界的な化粧ブランドが多いが、アーダンの製品は絹の使用率の高さが特徴という。絹の用途研究では鹿児島大学と共同で、皮膚科分野に取り組む。2012年9月には海外展開を計画している。

大豆粉製品を共同開発

れんげ・カンパニー(熊本県山鹿市・高田義彦社長、0968・46・6230)は、雑穀販売の主力を占める。2005年に雑穀販売の「自然農園」を創業し、個人事業で創業。親族が製粉業を営んでいた。10年から大豆事業に力を入れ、山鹿地方では製粉や転作で大豆を栽培することが多いという。原料は国産にこだわっている。

れんげ・カンパニー

山鹿市・高田義彦社長、0968・46・6230)は、雑穀販売の主力を占める。2005年に雑穀販売の「自然農園」を創業し、個人事業で創業。親族が製粉業を営んでいた。10年から大豆事業に力を入れ、山鹿地方では製粉や転作で大豆を栽培することが多いという。原料は国産にこだわっている。

県産小麦の冷凍パン拡販

宇佐パン粉(大分県宇佐市・岩井正久社長、0978・38・0274)は、既存の国産小麦に比べて高たんぱく質の国産小麦「産用小麦」を開発した。原料に冷凍パンを開発した。宇佐市でミニノカオリの生産拡大を目指す農事組合法人農守(宇佐市)などと連携している。

宇佐パン粉

「ゆずパン」を販売する。2012年に国の「農工商連携事業計画」に採択。補助金は主に展示会出展など販路拡大に充てられている。国の事業や関係機関と協力して、農業や農村振興の輪が広がってきた。(岩井社長)と喜ぶ。

に取れないネットでの画像掲載のポイントなど、細かなノウハウの指導を受けた。また、メールマガジンでの誘導、検索ワードの適正化などネット特有のマーケティング視点も取り入れた。大手電子商取引(E・C)サイトにも出店している。だが、店舗と連携した営業や既存顧客の囲い込みには、顧客情報を管理できる自社運営のE・Cサイトが必要だった」と中井取締役営業本部長は説明する。

を旨とした調査支援事業を活用。パリなど百貨店や化粧品専門店、研究機関などを訪問した。特にリヨンは絹織物の歴史がある産地で、絹を扱う者として必ず訪れたいと思っていた。(西社長)という特別な場所だった。調査では10日間、16カ所を訪問した。日本での予定段階から事業アドバイザーの助言を受けて綿密に計画。アドバイザーはアポイント取得にも力を発揮した。現地での存在感は大きく、中小機構の信頼もあって相手が真剣に話を聞いてくれた」と振り返る。

それをきっかけに、熊本県内の食品メーカーや熊本県産技術センターと共同開発。パンケーキ用ミックス粉や野菜スープ、ハムやチーズを包んで食べる「ガレット」用ミックス粉を商品化した。同社は認定制度など公的事業への参加に積極的。商工会の指導員などから申請の提案を受けると必ずチャレンジする。山鹿の古米を使った発芽玄米製品は熊本県の「くまもと農工商連携100選」に認定。中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認を2度受けている。

注力する考えた。特にユズの香りが漂う「ゆずパン」は、大分大学の技術指導を受けた商品で、ヘスベリジンといった抗酸化物質を含むユズ果皮粉末を生地に練り込んだ自信作だ。冷凍パンは保存食としての注目度が高く、市場拡大への期待は大きい。岩井社長は「販路が広がれば農家の経営安定につながる」といふ。ミニノカオリの作付面積も拡大しており、「もっかる農業」を地域で育てるため、同事業に地域経済を浮揚させる熱い思いを膨らませている。

注力する考えた。特にユズの香りが漂う「ゆずパン」は、大分大学の技術指導を受けた商品で、ヘスベリジンといった抗酸化物質を含むユズ果皮粉末を生地に練り込んだ自信作だ。冷凍パンは保存食としての注目度が高く、市場拡大への期待は大きい。岩井社長は「販路が広がれば農家の経営安定につながる」といふ。ミニノカオリの作付面積も拡大しており、「もっかる農業」を地域で育てるため、同事業に地域経済を浮揚させる熱い思いを膨らませている。

専門家の派遣

中小企業は様々な経営課題の解決や企業目標の実現に向けて、専門家を長期・継続的に派遣し、企業の成長、発展をサポートします。

1 専門家継続派遣事業

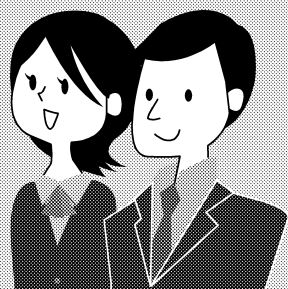
経営戦略の明確化や生産性向上など経営全般の課題解決を目指す企業に対し、中小企業診断士、公認会計士、司法書士、弁理士などの専門家を派遣します。

2 経営実務支援事業

特定の経営課題解決のため実務面での支援を必要とする中小企業に対し、大手、中堅企業等で10年以上の実務経験を有する人材で特定分野のスペシャリストを派遣します。

3 戦略的CIO育成支援事業

部門間、企業間の連携など比較的高度なITシステムの導入により、経営課題の解決・経営改革を計画的に実施しようとする意欲のある中小企業に対し、CIO経験者、中小企業診断士など中小企業のIT経営に関し、知見と実績を有する者を派遣します。



海外展開の支援

海外展開を目指す中小企業等に対して、経営課題へのアドバイス、販路開拓支援などを行います。

1 F/S(フィージビリティ・スタディ)支援事業

海外展開を目指す中小企業等の海外現地での市場調査に職員と専門家が全行程同行し、現地での市場調査をサポートします。

2 国際化に関するアドバイス

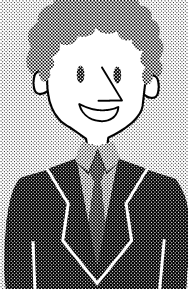
海外投資や国際取引などの海外ビジネスに悩みを持つ中小企業に対し、豊富な実務知識・経験・ノウハウを持つ海外ビジネスの専門家がアドバイスをします。

3 海外展開セミナーの開催

地域の支援機関や金融機関と共催する形で、中小企業のための海外展開セミナーを開催し、専門家を講師として無料で派遣します。

4 海外展示会出展サポート

ジェトロが開催する海外展示会を対象に、機構の専門家が出展準備～会場現地～出展後にわたり一貫した支援(アドバイス、商談支援)を行います。



新事業展開の支援

1 新連携事業

異分野の中小企業が連携して行う新事業展開について、事業計画策定から販路開拓までトータルで支援します。

2 地域資源活用事業

農林水産物、産地の技術、観光資源等の地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、生産について、事業計画策定から販路開拓までトータルで支援します。

3 農工商連携事業

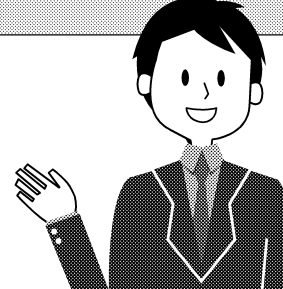
農林漁業者と商工業者等が連携して行う新商品・新サービスの開発、生産について、事業計画策定から販路開拓までトータルで支援します。

2014.04 OPEN!

～日本の優れた技術・製品.com～

J-GoodTech 募集

検索



お問い合わせ先



中小機構 九州

独立行政法人 中小企業基盤整備機構九州本部

〒812-0038 福岡市博多区祇園町4-2 サムティ博多祇園BLDG.

TEL:092-263-1500 HP <http://www.smrj.go.jp/kyushu/>